

イートンだより

2020年3月2日発行

やわらかな春の訪れを感じる陽射しに包まれ今年度も穏やかにゴールを迎えようとしています。振り返ると4月当初は新しい環境に戸惑っていた子どもたちも生き生きとした生活を送り、一回り大きく成長したことを感じます。

少しずつ進級・進学に期待感が膨らんできている子どもたち。

これからも一人一人の姿を大切に受け止め楽しく過ごしていきたいと思ひます。

今年度子どもたちが元気いっぱいにご過ごせたのも保護者の皆様の温かいご協力とご理解あつての事と感謝致します。

ありがとうございました。



～ひな祭りとは～

ひな祭りといえば、女の子の健康な成長を祈願する行事ですが、元をたどると元々のひな祭りの意義は違ったそうです。

ひな祭りは、中国の行事である「五節句」の一つである「上巳（じょうし）の節句」に由来すると言われていひます。この「上巳」とは3月の初めの巳の事です。古代中国では、この日は邪気が入りやすい日とされ、川で身を清める風習がありました。この中国の「上巳の節句」が平安時代に日本に伝わりひな祭りという行事のもととなりました。当時の日本では、自分の体に見立てた紙や藁の人形に自身の穢れや災いを移し、川や海に流すという形で広まりました。これが、現在にも残る「流し雛」になります。そして、室町時代にはこの人形が現在のひな人形の形になり、家の中に飾るようになりました。



お知らせ・お願い

- 3月21日（土）の卒園式は、あじさい組兄弟関係のみの保育となります。全職員で卒園児を見送りたいと思ひます。
- 3月31日（火）は新年度準備の為、午前中保育となります。
（※給食を食べて12時降園）
- 4月4日（土）は入園式（新入園児のみ）の為土曜保育はありません。
- 4月に行われていひました新入園児家庭訪問は来年度より個人懇談に変更します。

ちゅうりっぷ組



早いもので、ちゅうりっぷ組での生活も、もう終わりを迎えようとしていひます。この一年間、子どもたちの成長のはやさには驚かされることの連続でした。入園したばかりの頃はお家の方と離れることがつらく涙することの多い日々でしたが、今ではお迎えに来て「遊んでいたい。」と帰ることを渋り、お家の方を困らせるような姿も見られるようになりました。

今では、腹ばいからハイハイを経験し、一人で歩いたりお友だちと走り回ったりできるようになりました。ミルクしか飲めなかったけれど、離乳食を食べるようになり、スプーンを使って後期食や幼児食を自分で食べようとしていひます。お友だちとの関わりももてるようになり、取り合いになることもありますが、「かして」「どうぞ」と簡単なやりとりもでき始めていひます。大人にとっては当たり前の子供の出来事も子どもたちにとってはどれも富士山に登るくらいの重労働で難しいことですが、たくさんのことを経験し大きく成長しました。この一年間、子どもたちとともに過ごせたことを担任一同、大変うれしく思ひていひます。保護者の皆様には、たくさんのご協力をいただき、共に寄り添ってくださって、大変ありがとうございました。残りわずかな日々も、みんなで元気に楽しく過ごしていききたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

ばら組



もうすぐさくら組！

4月の始めは泣いていひた子どもたちもこの1年で 自我が強くなり、自分の思いを言葉やしぐさで伝えたり、身の回りの事ができることが増えてきました。

もうすぐさくら組になる期待を持ち、さくら組で遊ぶ機会も増やしさくら組さんと一緒に遊んだり、さくら組にある少し難しいおもちゃにも挑戦し、喜びや楽しさを味わい進級への期待に共感しながら残り1ヶ月笑顔で楽しく過ごしていきたくていひます。

心も体も大きくなり成長した姿をたくさん見ることができ担任一同喜びを感じていひます。大切なこの一年を子どもたちと一緒に過ごし、保護者の方と見守っていひたことをとても嬉しく思ひます。

至らない点もあったと思ひますが温かい目で見てくださいました、ご協力下さったこと本当にありがとうございました。

<さくら1組>

・友だち同士の関わりが多くなり、「一緒に遊ぼう」「おいで」などと誘い合って遊ぶ姿が見られます。先日は「親子でメリーゴーランド」のCDをかけると最初は友だちと2人で手をつないで踊っていましたが、そのうち「一緒にやろう」「ここにおいで」と誘い合い、手を差し出し、3人から4人、4人から5人と少しずつ輪が大きくなり、最後には一つの大きな輪になっていました。一人一人がニコニコととても微笑ましかったです。今月は進級に向けてたんぼぼ組の部屋で遊んだり、たんぼぼ組のトイレに行ったりして少しずつ慣れるようにしていきたいと思います。

<さくら2組>

「もうすぐたんぼぼ組になる」とよく話しているさくら2組さん。着替えや片付けなど「自分でできる」と自信いっぱいに取り組もうとしています。友だち同士で一緒に遊ぶことを楽しんでおり、玩具の貸し借りも、「貸して」「いいよ」「あとでね」「ありがとう」と言葉を交わしたり自分から「どうぞ」と譲ったりと、やりとりが上手になっています。さくら2組での生活もあとわずかになりましたが、進級に期待を持ちながら楽しく過ごしたいと思います。

<さくら3組>

・身の回りのことを行うことが少しずつ早くなり、衣服の着脱時にも自分で服を畳もうとしたり、服の裾をズボンに入れ身だしなみを整えようとしたりする姿が多く見られるようになってきました。遊びの中では「どうぞ」「いいよ」「ありがとう」のやり取りが自然にできるようになりごっこ遊びなどを楽しんでいます。さくら組での生活も残り1ヵ月となりましたが楽しく過ごしていきたいと思っています。

<すみれ1組>

・進級を楽しみに、いろいろなことに積極的に取り組んだり、自分のことは自分で頑張ろうとしたりする姿がたくさん見られるようになってきました。「あじさい組になったら、こんなことができる。」と、あこがれや、楽しみでいっぱいのすみれ1組の子どもたちです。『できることを褒めて自信へとつなげる』を大切に、「できること」「できたこと」を十分に褒めて自信を増やしながらかいさい組への期待を膨らませていきたいと思っています。

<すみれ2組>

日増しに暖かくなり、子どもたちは額に汗をにじませながら全力で走ったり、友だちと集団遊びをしたりと、体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

この一年間、日々の生活や行事を通して、友だちと一緒に笑ったり、喜んだり、悔しくて泣いてしまったりと、かけがえのない経験を積み重ねてきた子どもたち。心身共に一回り大きく成長したように感じます。

すみれ2組での生活も残り1ヵ月となりました。子どもたちにとって楽しい日々が過ごせるよう充実したものにしていきたいと思っています。



<たんぼぼ1組>

・身の回りのこともほとんど自分でできるようになり、当番活動も毎日頑張っている子どもたち。4月からいろいろなことに挑戦し、毎朝笑顔でいってらっしゃいができるようになった子、苦手な物が食べられるようになった子、大きな声で返事ができるようになった子、一人一人色んな面で大きく成長してくれました。たんぼぼ組での生活も残り1ヵ月となりましたが、毎日笑顔いっぱい楽しく過ごし、自信や期待をもってすみれ組に進級できるようにしていきたいと思っています。

<たんぼぼ2組>

・集団遊びがとても好きで何をしても大盛り上がりなたんぼぼ2組さん。友だちが負けて悔しくて泣いていると「次頑張ろう!」と慰めてあげる素敵な姿が見られます。

あっという間に11ヵ月が経ち、たんぼぼ2組で過ごすのも残り1ヵ月となりました。思い返せばできるようになったことがとても多くとてもうれしく感じます。進級に向けて生活習慣を見直しながらも、たんぼぼ2組での思い出を沢山作っていかうと思います。

<たんぼぼ3組>

・たんぼぼ3組としては残り1ヶ月となりました。4月から今まででできる事もたくさん増えました。友だちとのコミュニケーションも言葉でのやりとりが増えて、保育室に楽しい会話が飛び交っています。

3月も楽しく元気いっぱい遊びながら成長出来るようにしていきたいと思っています。

あじさい組

卒園式の練習が始まりました。子どもたちはカレンダーを見ながら「卒園式まであと〇日」と言いながら友だちと一緒に確認をしています。「どんな卒園式にしたいか」「どんな歌が歌いたいのか」などみんなで話し合い、一つ一つ流れを決めていくと、保育園での思い出や好きな歌がたくさん子どもたちからでてきました。また、「運動会のリレー楽しかった」「散歩に行ったね」「遠足も行ったね」「この歌が歌いたい」と一年を振り返る姿がありました。証書を受け取る練習、歌の練習などくり返し行う中で、子どもたちの気持ちにも変化が見られ、「さみしい」「涙が出る」と言うことも…。就学に向けてのいろいろな活動の中で子どもたちも気持ちの葛藤をしながら取り組んでいる様子が見られています。保育園最後の卒園式をみんなで素敵な卒園式にできるようにしていきたいと思っています。2月半ばからすみれ組、さくら組の午睡明けに、ベッドの片付けや着替えの手伝いに行っています。グループに分かれてはりきって手伝いをしている姿が見られ、優しく着替えを手伝う姿、職員に「次は何をしようか?」「机を拭いとくよ」など声をかける姿などいろいろな姿があります。今まで自分たちが大きいクラスの友だちにしてもらってきたことの実験が、今の姿になっていることを実感し、優しい気持ちが育っていることを嬉しく思います。卒園まで、できるだけ他のクラスの友だちと関わる機会を作り、一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと考えています。保育園で出会った友だちとのいろいろな関わりの中で、「やさしさ」「おもいやり」の気持ちを育てていきたいと思っています。